

(こくさいか山口 2003年10→12月号掲載記事)

～たこ焼き屋台出現～

下関市総合政策部国際交流課
(釜山広域市派遣職員)
石田 朋彦

この夏以降、釜山市内のあちこちで、たこ焼きを売る屋台を良く見かけるようになってきました。これまで日本料理といえばヘルシー指向にあいまったチョバップ(すし)・韓国のカルククスに似た味のウドン(うどん)程度であったことを考えると、ちょっとした出来事ではないでしょうか。韓国の食べ物が日本で流行することはあっても、逆に今までほとんどなかったのは、味が曖昧で素材の味を生かす日本の味付けには、なかなか馴染まなかったのではないのでしょうか。たこ焼きソースの強烈な味が韓国の味付けに何か通じる物があったのでしょうか。私は韓国に来てはじめは何を食べても同じような味付けに参りましたが、長く生活するうちに味の違いが少しずつ判ってくるのが、嬉しいような怖いような少し複雑な気分です。しかし、なぜ流行しているかは定かではありません。

昨年、日本車の話をしましたが、実は最近驚くべきお店を発見しました。なな、なんと世界のホンダ(但し二輪車)が私の宿舎の近くにOPENしたのです。価格は日本の倍程度ですから、かなり高い物だと思のですが、お店の人に尋ねたらそんなに沢山は売れないけれど900cc以上の大型バイクは売れていると話していました。バイクの持ち込みがとても難しく厳しかったのになぜ今この時期にこうしたお店が出来たのでしょうか。

今まで韓国に観光で来られる外国人の半数以上は日本人であるため、韓国人で日本語を話される方は驚くほど多いし、沢山の日本製品を見かけるのですが、日本文化は過去の歴史のせいで殆どが輸入禁止状態でした。だから道路にある案内標識には日本語表記はないのですよ。今度確かめて見て下さい。

しかし、今年の9月にちょっとした出来事がありました。日本の大衆文化について日本語歌詞のCD・テレビゲームソフト・18歳以上が観覧可能な映画など2004年1月から解禁する方針が打ち出されました。韓国人の知人に来年1月に開放されたら何を一番買ってみたいかと尋ねたところ、やっぱり日本音楽CDを買いたいというのが一番多かったです。カーオーディオの音質はいま一步なので日本製のコンポもきっと売れるようになるのではないのでしょうか？

ホンダはこうした情報をいち早くキャッチしたのでしょうか。SONYの広告も街で良く見かけるようになってきました。いずれにしても来年は日本文化が開放されるのでビジネスチャンス到来ではないのでしょうか。あなたも、あなた流のお店をここ釜山で開いてみてはいかがでしょう。